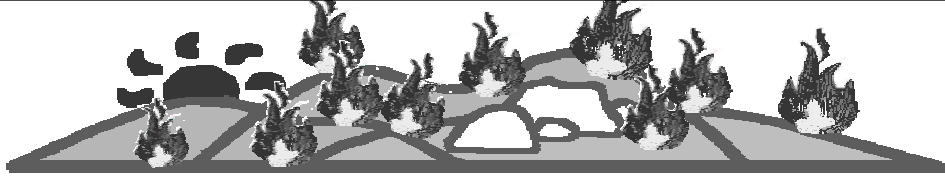


平尾台の野焼き 平成 24 年 2 月 26 日(日)

荒天の場合の予備日は、3月4日(日)、8日(木)、11日(日)



< 通行規制のお知らせ >

当日の 7:00 ~ 16:00 ごろ、県道 28 号線 吹上峠交差点 ~ 光水交差点間は交通規制があります。ご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。尚、市道 110 号(自然の郷経由)で迂回が可能です。

< 見学について >

「平尾台自然の郷」、「茶ヶ床園地」で観覧できます。

茶ヶ床園地の観覧は事前申込が必要。

【問合せ先】平尾台自然の郷 TEL 093-452-2715

< 降灰に注意 >

風向きによっては降灰が予想されます。洗濯物等に注意して下さい。

【平尾台の野焼きについて】

平尾台の野焼きは、林野火災の予防、害虫駆除、自然(草原)の維持保全を目的に行われます。野焼きの作業は、9月中旬に防火帯設置のための現地調査から始まります。その後、10月~11月に防火帯を設置し、12月に竣工検査、1月からは、実際に野焼きを行うための準備に入り、2月下旬に野焼きの火入れが行われます。

これらの防火帯設置作業や火入れ作業は、北九州市や福岡県、消防、警察、自衛隊、九州電力などの協力のもと東谷地区(12町内)のボランティア組織である「平尾台野焼き委員会」が中心となり、実施しております。

昭和 52 年 3 月 25 日 11 時、平尾台の野焼きの最中に区域外の貫山で林野火災が発生し、消防車両 83 台、ヘリコプター 2 機、消防職員・団員 562 人が出動しましたが、山林、原野 207 畝を焼損、消火作業中の消防職員 5 人が殉職しました。このときは現在のような防火帯は設置されていませんでした。

事故の後、野焼きは集落周辺のみ狭い範囲だけのものになりました。しかし、野焼きを行わないと失火が多く、観光客や地元住民の安全を確保するためには、是非とも野焼きを再開する必要があります。そこで、東谷地区と関係機関が話し合いを重ね、防火帯を設置して万全の安全を確保した上で再開しようということで、平成 5 年に現在のような野焼きが行われるようになりました。

今年の野焼きは、2月26日(日)に行われます。午前中は、吹上峠~大平山~四方台~手島基地~周防台~天狗岩~千仏~集落周辺に至る北側の 240 畝を、午後は自然郷周辺と千仏~内ノ蔵に至る 140 畝の火入れをします。壮大で迫力ある野焼きは、一見に値する光景であります。是非、見にきてください。